



PROLOGIS®

プレスリリース

2016年11月16日

## プロロジス、圏央道つくば中央 IC 近くに 「プロロジスパークつくば」の開発を決定



「プロロジスパークつくば」完成イメージ

(ドックシェルター付き冷凍冷蔵倉庫(左)、危険物倉庫併設(右)の場合のモデルプラン)

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、このたび、茨城県つくば市において「プロロジスパークつくば」の開発を発表しました。敷地内に、特定企業専用(BTS型)の賃貸用物流施設2棟の開発を計画し、入居企業を募集します。

### ■ 開発地: 広域拠点としてポテンシャルの高いニューマーケット

「プロロジスパークつくば」は、圏央道沿いにおける新たなマーケットとして、圏央道「つくば中央」IC から約5kmの地点に開発されます。北関東方面への配送に加えて、常磐道「谷田部」ICから約10kmに立地するため、都心部へのアクセス利便性も高いです。2016年度中には、圏央道「境古河」IC～「つくば中央」IC間の開通が予定され、都心部から放射状にのびる東名・中央・関越・東北・常磐・東関東の6つの自動車道とつながる計画となっています。これにより、都心部を経由することなく東西広域および東日本全域をカバーでき、広域戦略拠点として将来ポテンシャルの高いエリアです。

開発地周辺には住宅地や大学・研究機関が立地し、働く世代の人口が多く、雇用確保にも有利な環境です。また、つくばエクスプレス線「研究学園都市」駅より約1.9kmと近く、通勤利便性も高い。市街地に近い一方、工業団地に立地するため、24時間のオペレーションが可能です。

### ■ 「プロロジスパークつくば」施設概要

「プロロジスパークつくば」は、約38,000㎡の敷地を二分割し、特定企業専用(BTS型)施設として2棟の開発を計画しています。敷地利用計画および施設の設計は、入居企業の業態やニーズに合わせて行います。延べ床面積は、2棟合わせて38,000～57,000㎡程度を想定し、1棟目は敷地面積についても

全敷地での開発を含め入居企業の要望に対応します。

施設は2階建て～4階建て程度を想定し、ドライ倉庫以外に、ドックシェルター付きの冷凍冷蔵倉庫、危険物倉庫の併設、敷地内のトラック待機場など、多様な物流ニーズに応えます。

#### 「プロロジスパークつくば」計画概要

名 称	プロロジスパークつくば
所 在 地	茨城県つくば市東光台
敷地面積	約 38,000 m <sup>2</sup> を二分割
延床面積(予定)	2 棟合計 約 38,000 m <sup>2</sup> ～57,000 m <sup>2</sup>
構 造(予定)	地上 2～4 階建
着工予定	2017 年～
竣工予定	2018 年～

#### ■ プロロジスの専用物流(BTS 型)施設

プロロジスは「プロロジスパーク古河 1」「プロロジスパーク古河 2」「プロロジスパーク神戸 2」など全国に13棟のBTS型施設を運営・開発中です。また、「プロロジスパークつくば」のほかに、「プロロジスパーク古河 3」「プロロジスパーク神戸 3」「プロロジスパーク海老名 2」の開発を計画中であり、入居企業を募集しています。

プロロジスは、今後もお客様のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先  
プロロジス 広報室 担当:古川  
TEL:03-6860-9107 / FAX:03-6860-9020  
E-mail: sfurukawa @prologis.co.jp